

# 図書館だより 2号

令和6年10月 発行



過去にないほどの猛暑からようやく秋を感じられるようになってきました。

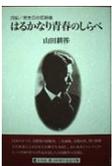
今図書室では、皆さんがより一層図書室を活用しやすいように、本の循環作業を行っています。段々と、図書室がすっきりしてきていると感じている人もいるかもしれませんが、まだ完成までには時間が掛かりますが楽しみにしておいてください。

今回の図書館だより2号では、1号に引き続き新任の先生や事務職員の方からのお薦めの本を紹介していきます。



読書の秋です。より多くの本と触れ合い、自分磨きとなる本を見つけてみませんか？

🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻 神原かおる先生おすすめの本 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻



【書名】若き日の狂詩曲～はるかなり青春のしらべ～

【著者名】山田 耕筰

【本に関するコメント】

有名な「赤とんぼ」や「この道」など数々の名曲を作曲し、日本のオペラ、交響楽運動の創始者となった山田耕筰が、自ら波乱に富んだ青春時代を赤裸々につづっている自叙伝です。

偉大な作曲家の私生活等を垣間見ることができ、楽しく読み進められますよ。

🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻 井門稀栄先生おすすめの本 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻



【書名】私は私のままで生きることにした

【著者名】キム スヒョン 訳:吉川 南

【本に関するコメント】

韓国の数々の人気アイドルも読んだと話題になったエッセイです。

誰も生きていれば多かれ少なかれ他人の目を気にすることがあると思います。私自身も周りの目を気にしすぎることもあり、悩ましく思うことがあります。この本は、他人との関係の中で生まれるマイナス感情、ネガティブ思考を少しプラスにしてくれます。他人の反応をあまり気にしすぎないでいいんだ、無理に周りに合わせなくてもいいんだ、といったように気分が楽になります。もちろんこの本を読んですぐに変えることはできないかもしれませんが、この本に載っていることに少しでも共感できれば、どこか自分の中で感じている生きづらさを軽減できるかもしれません。

🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻 井上修二さんおすすめの本 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻



【書名】三体

【著者名】劉慈欣(リウツーシン)

【本に関するコメント】

昨年テレビで変な題名があったので興味があり、見ることとなりました。高校時代は、図書館でSF小説に出会いました。この本は地球上の物理学の法則が成り立たない、3つの恒星がある惑星人が、地球征服へ宇宙船を送り出すところから始まります。

私の想像を超えたストーリーで、中国の文化大革命から400年の間地球でのそれぞれ時代の主人公の苦悩と決断が三体問題に向かって行きます。

三部作となっていますが、興味のある方は一読を薦めます。